



©2005 石塚真一/小学館

第 311 号 (令和5年(2023 年)8月 28 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

～クイズで知ろう！この夏登りたい「長野県内の日本百名山」を安全に踏破するヒント～

過去 3 年間(令和 2～4 年)でとくに遭難者が多かった日本百名山(槍ヶ岳・穂高連峰・白馬岳・常念岳・赤岳)での遭難事例からわかる注意点を、クイズ形式で紹介。

<https://yamahack.com/5782>

救助隊長からの「7つのお願い」

夏山シーズン、信州で安全に登山を楽しんでいただくために「7つのお願い」をまとめました。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/index.html>

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のゲーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>
を確認し万全の準備で入山を！

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

8 月 3 週は、1 件の死亡遭難を含む 8 件の遭難が発生し、2 週に続き、下山中に発生した遭難が多数ありました。

下山は、登りと異なり肉体的な疲労に加え精神的な疲労も溜まりますので、登り以上に足下や周囲の状況に注意して慎重に行動しましょう。

3 週は、単独登山中の遭難が大半を占めていました。単独登山は、気を遣うことなく自分のペースで行動ができますが、万一トラブルに遭遇した場合や遭難した際には、救助を要請できないことがあり、最悪の場合、死亡や行方不明遭難など重大な結果を招くおそれがあります。

単独で登山に行かれる際には、複数人での登山よりも多くのリスクを伴うということを認識し、登山計画を家族や職場等に確実に伝えた上で安全登山を心掛けた行動をお願いします。

県内は、午前中は快晴でも午後になると天気が急変し、突発的な雷雨となる天気が続いています。

行動中は空の状況を観察し、「急に風が吹いてきた」「雲が湧き出てきた」といったような変化は天気が急変する兆しですので注意が必要です。「早出・早着」を心掛け、余裕を持った日程で行動をしましょう。

発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
8月17日	北アルプス 常念岳	男	49	負傷	転倒	単独 で山頂から下山中、転倒、負傷
17日、単独で、日帰りの予定により北アルプス常念岳に入山した男性(49歳)が、山頂から下山中、転倒して負傷する山岳遭難が発生し、安曇野警察署山岳遭難救助隊員、警察本部山岳遭難救助隊員及び北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会救助隊員が出動して救助しました。						
8月18日	北アルプス 南岳	男	60	無事救出	その他	単独 で天狗原に向けて下山中、登山道から外れて行動不能
17日、単独で上高地から北アルプスに入山した男性(60歳)が、18日、南岳から天狗原に向けて下山中、稜線の登山道から外れて行動不能となる山岳遭難が発生し、北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会救助隊員が出動して救助しました。						
8月18日	北アルプス 天狗沢	男	56	死亡	不明	単独 で天狗沢付近を登山中、何らかの原因で行動不能
18日、北アルプス天狗沢付近において、雪渓上に倒れている人を発見したとの通報を受け、富山県防災ヘリが出動し、登山者と思われる男性(56歳)を発見して、救助しましたが、死亡が確認されました。						
8月18日	八ヶ岳連峰 丸山	男	54	負傷	転倒	単独 で麦草峠に向けて下山中、スリップし、転倒、負傷
18日、単独で八ヶ岳連峰丸山に登頂した男性(54歳)が、麦草峠に向け下山途中の登山道上で転倒して、負傷する山岳遭難が発生し、佐久広域消防本部消防署員と佐久警察署員が出動し、救助しました。						
8月19日	北アルプス 蝶ヶ岳	男	53	負傷	転倒	単独 で三股登山口に向けて下山中、足を捻って転倒、負傷
13日から単独で三股登山口より入山した男性(53歳)が、19日、蝶ヶ岳から三股登山口に向けて下山中に登山道上で左足首を捻り転倒し負傷する山岳遭難が発生し、県警ヘリで救助しました。						
8月19日	北アルプス 槍ヶ岳	男	54	無事救出	疲労	2人パーティで上高地に向けて下山中、疲労により行動不能
17日から2人パーティで上高地より入山した男性(54歳)が、19日、槍ヶ岳から上高地に向けて下山中、疲労により行動不能となる山岳遭難が発生し、松本警察署山岳遭難救助隊員及び長野県山岳遭難防止常駐隊員が出動し、県警ヘリで救助しました。						
8月20日	北アルプス 涸沢	女	66	負傷	転倒	12人パーティで横尾に向けて下山中、バランスを崩し転倒、負傷
18日から12人パーティで上高地より北アルプスへ入山した女性(66歳)が、20日、奥穂高岳から横尾へ向けて下山中、バランスを崩して転倒し左足首を負傷する山岳遭難が発生し、長野県山岳遭難防止常駐隊員及び、北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会救助隊員が出動して救助しました。						

8月20日	御嶽山	男	65	負傷	転倒	単独で五ノ池に向けて登山中、転倒し、負傷
<p>20日、単独で御嶽山五ノ池に向けて三ノ池付近を登山中の男性(65歳)が、転倒して左足を負傷し、行動不能となる山岳遭難が発生し、木曾地区山岳遭難防止対策協会救助隊員、警察本部地域部山岳安全対策課救助隊員が出動して、県警ヘリで救助しました。</p>						

令和5年(2023年)中の山岳遭難発生状況(令和5年(2023年)1月1日～8月20日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和5年(2023年)	184	22	3	98	82	205	123
内)単独登山	62	9	0	29	24	62	38
令和4年(2022年)	174	21	2	82	89	194	105
前年同期比	+10	+1	+1	+16	-7	+11	+18
内)単独登山	+8	±0	-1	+11	-2	+8	+10

■山域別発生状況(令和5年(2023年)1月1日～8月20日)

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高	36	19.6%	9	0	16	40
	後立山	41	22.3%	3	2	27	46
	その他	20	10.9%	2	0	8	22
	計	97	52.7%	14	2	51	108
中央アルプス	12	6.5%	0	0	10	5	15
南アルプス	3	1.6%	1	0	0	3	4
八ヶ岳連峰	35	19.0%	2	0	17	20	39
その他の山岳	37	20.1%	5	1	20	13	39
計	184		22	3	98	82	205

■態様別発生状況(令和5年(2023年)1月1日～8月20日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	51	27.7%	12	0	41	0	53
転倒	43	23.4%	0	0	43	0	43
病気	14	7.6%	2	0	0	12	14
道迷い	17	9.2%	0	0	0	20	20
落石	6	3.3%	1	0	5	0	6
雪崩	3	1.6%	3	0	2	1	6
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	27	14.7%	1	0	0	32	33
不明・他	23	12.5%	3	3	7	17	30
計	184		22	3	98	82	205

■男女別・年齢別比率(令和5年(2023年)1月1日～8月20日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	1	5	6	40 27.8%	0	0	0	3	3	13 21.3%	9	53 25.9%
20代	0	0	6	9	15		0	0	3	2	5		20	
30代	3	2	10	4	19		1	0	0	4	5		24	
40代	3	0	9	10	22	48 33.3%	0	0	4	5	9	24 39.3%	31	72 35.1%
50代	5	0	15	6	26		3	0	7	5	15		41	
60代	2	0	19	11	32	56 38.9%	1	0	8	6	15	24 39.3%	47	80 39.0%
70以上	4	1	10	9	24		0	0	6	3	9		33	
計	17	3	70	54	144		5	0	28	28	61		205	
比率	70.2%						29.8%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp
までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝